

天皇は――

：貴あれば賤あり：差別の元凶

大きい」といふ概念、判断は「小さい」といふ概念を前提にして成り立つ。これは誰が考えてもあたりきえとして、よく判ることからだろう。

だとすれば、天皇をトウトイとする考えは、イヤンイものも前提として成り立つことも、ゆかることと思ひ。

天皇は勲章をさげけることによつて人間をランク付けているが、勲章をもらった人間がエラソウにする、できるのは、勲章と無縁な多くの人が、無縁でありながらも、天皇をトウトイと考へているからであり、もしくは関係がないとして放置し続けているからである。

アソコ、日雇いとして世間から冷たい目で見られていやな鬼いをしたことのある仲間、日雇いに対する差別を許せないと思へる仲間は、タテマツられている天皇について、反対の意志表示を明確にしなければならぬ。

天皇の戦争責任は重大

マツリあげられて賤の地位としての責をたちづくる天皇

なるものは我々に必要なものですが、ヒロヒト個人については、それ以外に、日本の敗戦でおわつた「大東亞戦争」の戦争責任をとつていないことでも追及されるべきだと考へます。それは遠い昔、すぎつたこと

賤をなくさんとすれば、貴をなくさねばならぬ。もつとも、これは頭の中だけの問題ではない。

確かに、反天皇の声を大きくし、天皇をマツリあげにくくすることは肝要である。だからこそ、大決公園に行くことを呼びかけている。

しかし、天皇のマツリあげは単に絵空ごととしてあるのでは

ととして、忘れるべきことではないか。

植民地とされた朝鮮から軍属として徴用され、南方の掃蕩収容所の看守をしていた朝鮮人が

そのことを理由に戦犯とされて死刑になった。

一の一例だけを取りあげてもヒロヒトの責任が追及されない

なく、実生活上の利害、経済関係をもとに成り立っていることをも知らなければならぬ。

我々日雇いが資本の使い捨てる結果、不安定な生活を強いられ、それを見て、また資本の側からあらわれて、我々を差別する者がいる。その逆が天皇についていえる。資本を労働現場から奪つことも必要だ。

ところが、許しがたいことであることは明白であると思ひます。

多くの人命を奪つた戦争の責任追及に、時効はあつてはならないと考へます。

軍費のみが突出を続ける今の日本であるからこそ、よけいに、再び戦争をおこさないために、必要な責任の追及であると思ひます。どう思ひますか。